

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	建設局みどりの推進部みどりの管理課(2536)
-----	-------	-----------	-------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	モエレ沼公園	所在地	札幌市東区モエレ沼公園1-1
告示年月日	平成7年3月31日	面積	1,041,179㎡
公園種別	総合公園		
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	モエレ沼公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	ガラスのピラミッド、海の噴水、プレイマウンテン、モエレ山、野外ステージ、野球場、テニスコート、陸上競技場		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数: 1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(野球場、テニスコート、陸上競技場、ガラスのピラミッド)運営(利用料金制度)		
3 評価単位			
	施設数: 1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和元年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>モエレ沼公園の管理運営にあたっては、以下の基本方針により実施した。</p> <p>①平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。</p> <p>②関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映とその発信に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。</p> <p>③資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費節減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。</p> <p>④自己実現、生涯学習の場として積極的な利用を促すため、市民や関係諸団体・機関等との連携・協働を推進し、活動の場としての魅力を高める。</p> <p>⑤子どもをはじめとする来園者が、豊かな自然にふれ、自由な発想で遊ぶことのできる公園環境を提供する。</p> <p>⑥地域の健康づくり・運動拠点としての価値を向上させ公園の利活用促進につなげる。</p> <p>⑦札幌市が世界に誇る文化資産として、公園の芸術性の維持とさらなる向上を目指し、来園者に感動と癒しを与える質の高い空間を提供する。</p> <p>⑧札幌市の重要な観光資源の一つとして、さらに広く認知され、活用されることを目指す。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>1) 平等利用確保の方針 年齢や障がい、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって公園の平等利用が妨げられないよう、また、利用者に不公平感を抱かせることのないようスタッフ教育を徹底し、施設の管理運営を行った。</p> <p>2) 平等利用のための主な取組及び成果 方針に基づいた取組を継続的に行うことにより、苦情件数は減少している。</p> <p>① 平等利用の確保 ▼ガラスのピラミッド及びレンタサイクル受付に、車椅子及びベビーカーを配置し、無料貸出を実施 ▼公園パンフレット、HPは4カ国語対応を維持(日本語・英語・韓国語・中文繁体字・中文简体字) ▼公園HPにおいて、より多くの方々に利用いただけるようウェブアクセシビリティを確保(JIS X 8341-3:2016(レベルAA準拠)) ▼全スタッフによるバリアフリー講習の実施 ▼HPやSNSのほか、園内(館内)の掲示におけるきめ細やかな案内・更新により、イベント・開花情報、施設利用情報等を提供</p> <p>② 利用機会の平等 ▼イベント等で一部公園内に利用制限が発生する場合にはHPや園内掲示で周知を徹底 ▼火気使用ならびに占有等の違法行為や不法行為に対する迅速な対応 ▼ペット連れ来園者のマナー向上のため、HPへの掲示や案内チラシの配布を継続するとともに、園内巡回時に適宜指導</p>	<p>・当公園の設置目的に沿って策定した基本方針ならびに事業目標に則り、利用サービスの充実や満足度の向上など利用者の視点に立った効果効率的な公園の管理に努めた結果、今年度の運営維持管理は概ね順調に遂行できた。</p> <p>・全スタッフを対象とした接遇研修や、サービス接遇検定の資格取得等を通じて、平等利用に対する意識を醸成したほか、朝礼時での情報共有など日常的な指導を適宜実施。平等利用のための各種取組を年間を通じて実施できた。</p>	<p>A B C D</p> <p>適正に策定されているものと判断します。国内外から多くの利用者が訪れる公園であり、文化的な価値も高く、期待されるものも大きいですが、満足度の高い管理運営を実施していただくようお願いいたします。</p> <p>適切に実施されています。</p>

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

北海道環境マネジメントシステムスタンダード(HES)に基づくEMSを運用することにより、環境負荷の低減に向けた各種取組を実施した。ここでは、ガラスのピラミッドと園内管理部分について概要を報告する。

▼ガラスのピラミッド部分

夏期の冷房については、雪冷房システムを稼働しており、CO₂の削減を図っている。猛暑のため都市ガス燃料を使用した平成22年度を除き、平成17年度から今年度までは雪冷房のみで対応している。

都市ガス燃料を使用せず雪だけで冷房を実施することで1シーズン(6月～9月)あたりCO₂約30.8トンを削減できると試算されており、今期も同量が削減されたと思われる。

▼園内管理部分

緑地維持管理作業の中で発生する樹木等の処理については、継続的にチップ化や堆肥化を実施している。

園内で発生した樹木は281.48m³をチップ化し、利用者が散策しやすいように全量をサクラの森とカラマツの林の遊歩道に敷き均した。

前年度の芝刈作業で発生した刈草堆肥約559m³を、昨年同様テニスコート樹林へ散布した。なお、今また、生物多様性の保全を図るため、樹林地部分の草刈りは施工時期の調整を実施したほか、サクラの森樹林地の草刈りは猛禽類雛の巣立ちまでの保護のため、春先の草刈り開始時期の調整を計画的に実施している。

公園内で発生する一般ゴミは、発生量を抑えるために園内にゴミ箱を設置せず、持ち帰りの協力を継続してお願いしている。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

統括管理責任者には、公園管理運営経験20年以上のマネージャーを配置するとともに、統括管理責任者を補佐・代理を担うサブマネージャーとして学芸員、樹木医など3名を配置した。その他、ボランティアコーディネーター(兼務)、施設管理や緑地管理等作業、受付、監視などのスタッフを配置し、円滑な管理運営を行った。

また、研修計画に基づき、接遇研修、普通救命講習、安全衛生教育等を実施するとともに、労働関係法令の遵守と関係規定の整備等により、スタッフが安心して働くことのできる雇用環境を確保した。

・貯雪庫内の雪は10月まで残ったが、自然エネルギーを活用し、夏期の雪冷房において十分にCO₂を削減できたと言える。

・不要な電灯の消灯や照度調整、季節に合わせた施設開放時間の変更、冬期間における園路灯消灯範囲の拡大、LED電球への交換など継続的に節電に取り組んだ。

・次年度も引き続き使用量削減に努める。

・植物性廃棄物については園内にて再利用し、有効にリサイクルを行った。

・管理運営組織を確立して円滑な業務遂行を図ることができた。

・研修等は全て計画どおり実施し、職員のスキルアップとともにその成果を業務に活かすことに努めた。

雪冷房は必要な時期に、最大限に活用できるように、管理努めてください。利用者へのサービスの低下や施設の管理上問題が発生しないよう注意したうえで、効果的な節約に努めてください。

生物の生息に配慮した維持管理を評価します。刈草等の有効活用は適切に行われています。

適切に実施されています。適切な人員の配置や教育を通じて、働きやすい職場環境の維持に努めてください。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

利用者の満足度や要望等を随時把握するため、ガラスのピラミッド、レンタサイクル、フィールドハウスにそれぞれご意見箱を常設しているほか、公園HPにも意見・要望フォームを開設している。また、ガラスのピラミッドで月2回、土曜日に対面アンケートを実施し、集計・分析を行っている。

なお、主な自主事業イベント開催時にはイベント参加者に対してアンケートを実施し、内容の改善等に役立てている。

事故や怪我、苦情については事故報告書や苦情等対応票を作成し、組織全体で即時に情報共有することにより、類似の事故や苦情発生の予防に努めた。

公園内の巡視・巡回を行うにあたり、要領及びポイントを夏期と冬期に区分して設定し、実施した。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

第三者への委託にあたっては、当協会の「工事及び委託被指名者選考委員会要綱」により「札幌市競争入札工事等参加資格者名簿」(札幌市)の登録事業者を準用し、札幌市内の企業・団体から優先的に選考した。

指名選考委員会を協会内に設置し、委託先を選考するとともに、「契約事務取扱要綱」により、入札または見積り合わせを行い、適正に委託先を決定した。

また、委託先決定後の業務については、委託先から提出される業務工程表、着手届、終了・完了届、日報、月報、期報、点検報告書、点検・業務写真などにより、担当課長及びサブマネージャーなど複数の検査員によって履行を確認した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 札幌市との運営協議会

開催日	協議・報告内容
3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・管理業務実施状況 ・管理運営上の問題点、改善点 ・自主事業の実施状況 等
<協議会出席メンバー> みどりの管理課:公園管理係長、公園維持係長ほか 公園緑化協会:モエレ沼公園マネージャー	

・アンケートのご意見・ご要望は真摯に受け止め、改善できるものについては速やかに対応した。

・事故発生時には迅速且つ的確に対応し、処置に関する問題はなかった。

・日常的な巡回と施設点検に重点を置いた巡回を併用し、事故の未然防止に努めた。

・第三者への委託については、委託先の決定及び業務の実施とも問題なく遂行できた。

・運営協議会では、今年度の利用状況や取組の成果を報告したほか、感染症対策に関わり、施設開放をどのようにしていくのか協議することができた。その他、札幌市に対しては必要な連絡調整等を年間を通じて適宜行った。

市民利用も多く、札幌を代表する観光地であるため、常に高い水準で維持管理を行うことができるように、利用者の意見を取り入れながら、維持管理のレベル向上を継続してください。

適切に実施されています。委託業務については、内容を把握した上で、適切に履行確認を行ってください。

適切に実施されています。関係機関とのコミュニケーションを大切に、情報共有を図り、より良い公園の管理運営につなげてください。

▼モエレ沼公園利活用協議会

開催日	協議・報告内容
中止	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用状況 ・事業(イベント・広報・連携事業等)実施状況 ・翌年度の主なイベント予定(自主・持込)等
<p><協議会出席メンバー></p> <p>計画:NPO法人モエレ沼公園の活用を考える会、モイレHIDAMARI、モエレ沼芸術花火開催委員会、札幌商店街振興組合、NPO法人公園ねっとわーく、丘珠連合町内会、札幌連合町内会、中沼連合町内会、東雁来連合町内会、当協会(モエレ沼公園マネージャーおよびサブマネージャー)</p>	

・利活用協議会では、関係者と意見交換や今後のモエレ沼公園の改修工事についてなど共有する機会となる予定であったが感染症予防のために年度内の開催が出来なかった。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分しており、現金等の取扱いについては点検、調査を行っている。事務局経理事務担当者による現金出納簿の確認、月末締め現金出納簿と売上金口座入金状況の確認を随時行っている。

▼団体の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。

▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。

・札幌市の検査・監査には適切に対応した。また、改善が必要な事項等については、各公園・施設のマネージャーが集まる営業会議で都度確認し、公園・施設でも周知徹底を図った。

適切に実施されています。複数名による確認を徹底し、適正に管理されるように努めてください。

・不正行為や事故発生のため未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。

・不正経理等の事故は発生していない。

▽ 要望・苦情対応

要望・苦情対応については、その対応について受付、責任・担当部署等を明確にして対応・回答し、すぐに改善できることは迅速に対処している。

また、協会内で統一の苦情等対応報告票を活用し、所内のみならず組織全体での情報共有を行っている。

・公園管理事務所に直接届く件数は減少している。ただし、苦情や要望や質問までSNSなどで広く拡散される傾向にあるため、今後も広く情報収集に努めたい。

公園利用マナーに関しては、継続して周知や呼びかけを行うことが必要であるため、引き続き実施してください。

要望や苦情として令和元年度は7件の声が寄せられた。内容は、利用者やペットのマナーについてや、東大橋のレンガタイルの修繕への要望、また、公園スタッフの接客態度についての苦情もあった。

	<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>モニタリングのための公園利用者アンケートについては、日常的に設置しているご意見箱以外に対面式でのアンケート調査を実施したほか、主要なイベント参加者へのアンケートも適宜行った。</p> <p>ガラスのピラミッドは特定建築物にあたるため、必要な定期点検を実施した。また、衛生計画書を作成・遵守し、所管部署へ適時報告した。</p> <p>指定管理期間の提案項目の履行状況を確認し、可能な限り実施するよう取り組んだ。</p>	<p>・モニタリング結果は適宜集計・分析を行い、市への報告書等を遅滞なく提出した。</p> <p>・自己評価点検を実施し、改善すべき事項については次年度の管理運営に反映させる。</p>	<p>国内外から多くの方が訪問される観光地でもあるため、期待に副えるように、意識を高く保つよう努めてください。</p>
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金861円(令和元年10月3日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出ている。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を実施している。 	<p>・公園現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>・当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>・安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<p>A B C D</p> <p>適切に実施されています。雇用体制を適正に保ち、安全な職場環境と従事者のモチベーションが保たれるように努めてください。</p>

	<p>▼安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園・施設のマネージャーが出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、結果をスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。</p> <p>▼維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。</p> <p>▼ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取り組みを行った。</p> <p>▼公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取り組みを行った。</p> <p>▼第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。</p> <p>▼女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けている。</p>										
<p>(3) 施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>① 利用者の安全確保及び作業時の事故防止等のために、下記の取組・対策を実施</p> <p>▼安全教育や普通救命講習受講による事故等の未然防止や緊急時における即時対応が可能な体制を構築</p> <p>▼作業機械の整備不良による事故防止</p> <p>▼ハザードマップの作成・公開、ヒヤリハット事例の収集による事故等の未然防止</p> <p>▼安全管理の体制づくりと備品(AED、救急箱)の配備</p> <p>▼「さっぽろ救急サポーター」への登録</p> <p>▼事故・災害等の発生や、利用規制・注意喚起が必要な事象の周知・告知による安全確保</p> <p>▼管理作業においては公園利用者の支障にならないよう配慮するとともに、利用規制が生じる場合は作業表示板やセーフティコーンを配置して、安全な公園利用に配慮</p> <p>② 法令遵守・利用指導による公正とサービス向上</p> <p>▼法令遵守と有資格者等による作業の徹底</p> <p>▼遺失物法に基づいた対応マニュアルに則した公園の拾得物・遺失物の取り扱い</p> <p>▼適切な利用指導による不正利用・違法行為の排除</p> <p>③ 当協会の過失または故意により札幌市または第三者等に損害を与えた場合に備え、損害賠償責任保険に加入</p>	<p>・朝礼や研修を通じて作業及び利用における安全意識の徹底を図り、安全の確保に努めた。</p> <p>・急病者等への確に対応するため普通救命講習を受講し、救急車要請時には迅速に対応することができた。なお、救命救急対応用として、ガラスのピラミッド、フィールドハウス、モエレビーチの3箇所にAEDを配備した。</p> <p>・公園利用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を、ガラスのピラミッド・レンタサイクル・フィールドハウスに掲示した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者及び作業従事者の安全を第一とし、安心して利用できる公園の管理運営を継続してください。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

施設・設備等の維持管理については、常に適切な状態に維持し、快適かつ楽しく利用できるように努めた。主な施設と管理内容は下記のとおりである。

① ガラスのピラミッド

- ▼ 開館前、開館中(随時)、閉館前の日常点検
- ▼ 貸室利用後の点検
- ▼ 日常清掃(毎日)及び定期清掃(2回/年)
- ▼ アトリウムのガラス清掃(外側:1回/年)
- ▼ 各種法定点検の実施

② 雪冷房システム

- ▼ 雪を貯雪庫に搬入する運用準備
- ▼ 温度設定と外気冷房・床吸熱設備を併用した細かな日常管理
- ▼ 清掃やポンプ等の機械設備を点検する運用終了管理

③ モエレビーチ

- ▼ 全体点検、清掃、サンゴ舗装の補修等の開放前点検
- ▼ 監視員による水質管理ならびに清掃・巡視・利用マナーの指導等の日常点検
- ▼ 全面清掃・水の入れ替え等を行う定期清掃(1回/週)
- ▼ 水質自主検査(2回/日)、ならびにプール管理指導要綱に準じた水質・衛生管理(1回/月)を実施

④ 海の噴水

- ▼ 運転準備
- 施設全体、躯体、ポンプ、バルブ、照明、監視システム等の点検及び試運転の実施
- ▼ 運転プログラムの設定入力
- ▼ 貯水槽内の残留塩素濃度の測定及び監視カメラによる利用者や動物の侵入監視を行う日常管理
- ▼ 冬季管理:貯水槽の排水・清掃、ポンプ及びバルブの水抜き、照明器具の冬囲い

・施設・設備の維持管理については、苦情等もなく概ね良好に実施できた。また、経年劣化や老朽化に伴う設備や機械の不具合発生時には、直営または業者による点検や修繕を速やかに実施し、円滑な施設運営に努めた。

・雪冷房システムについては、細かな温度管理を実施した結果、冷房のバックアップとなっている都市ガス燃料を一切使用しない運転が実施できた。

・モエレビーチでは、日常的な監視体制や定期的な清掃ならびに水質検査等を通じて、水辺での事故や怪我を防止し、安全かつ衛生的な水辺空間を提供することができた。

適切に実施されています。施設の規模が大きく複雑なため、専門的な知識を持った業者等の知見を参考に、適切な施設の把握を継続してください。常に利用者の視点に立った維持管理に努めてください。

⑤遊具

▼部品の欠落や破損の有無を目視による日常点検

▼定期点検

・月1回、目視・触診・打診・聴診等に加えて、メジャー・ノギス等の計測機器を用いて、前回の計測時から変形・摩耗が生じていないかを点検

・年2回(4月・7月)、社団法人日本公園施設業協会が認定する「公園施設製品安全管理士」または「公園施設製品整備技士」の資格者を有する専門業者に委託して点検実施

▼エリアA改修工事(9月17日～2月13日)

劣化したゴム製の床板の交換を中心に札幌市により改修工事

▼積雪期前後に一部遊具の設置・撤去を実施

⑥芝生・草地管理

▼芝生管理は、スポーツ施設や芝生広場、鑑賞や環境維持など、用途や目的に応じた刈り込み回数を設定し、メリハリをつけた管理を行った。

▼樹林地の草刈りは、刈り込み回数を年3～5回程度とした区域をそれぞれ設け、刈り込み時期など生物多様性保全に配慮するとともに、一定レベルの景観を維持した管理を継続的に実施した。

▼農薬を使用しない管理により、安心・安全を提供した。

▼芝刈・草刈作業時における安全対策を徹底した。

⑦樹木管理

▼サクラの森の日常管理では、サクラの生育調査、冬期剪定、病害枝切除及び病患部治療を実施したほか、サクラの周囲に生育している高木の枝落としと間伐を実施した。

▼樹林地は倒木被害が多くあるため、委託業者と調整し、業者が入らないところは、直営で伐木作業を行った。

▼苗圃では、樹木の育成やサクラの苗木栽培を継続的に行った。

▼園内で発生した植物性廃棄物をチップや堆肥化し、積極的にリサイクル活用した。

⑧冬季管理

5年連続して平年を下回る降雪量であったが、雪底処理や雪下ろし、施設周り除雪などを適宜実施し、雪による施設被害はなかった。また、また大型除雪機械による園路除雪では、スノーポールを適所に設置して園路破損を最小限に留め、施設維持と安全確保に努めた。

モエレ山のソリコースは、スキーやスノーボード利用者と混在しないよう案内看板を設置したほか、事故防止のための防護ネットを配置した。また、「利用の心得」を記載した看板を設置した。

今シーズンは降雪が少ない時期が続き、前半は初心者用の短いコースのみの開放となった。

観光客や外国人観光客等のコース内立ち入りを防止するため、注意喚起の案内・指導を強化し、安全確保に努めた。

散歩コースは、利用者の要望に応え、圧雪整備距離を延長した。

・サクラの森エリアの遊具は老朽化が進んでいるのに加え、H30年度秋の地震による故障があり、特にオクテトラについてはずれがひどく、札幌市による大規模な修繕が必要な状態が続いている。

・植物の維持管理については、生育状況を踏まえつつ概ね良好に実施できた。また、H30年度の台風による倒木処理はほぼ終了した。

・樹木の日常管理においては、ボランティアとの協働により緑に関する講習会のサポートや圃場の除草、サクラの下草刈り等を行うことを通じて、市民参加活動を推進した。

・スキーコースのルート変更、モエレ山の利用区域分けなど、安全対策を実施した結果、利用者からの評価も得ることができた。

・海外からの観光客増加等を受け、利用者動線(区域)の棲み分けを図るためのピクトや多言語による看板を設置したほか、巡回時の案内を強化する等の結果、事故やトラブルを未然に防ぐことができた。

	<p>▽ 防災</p> <p>防災訓練計画を策定し、年2回ガラスのピラミッド消防訓練を実施した。 全スタッフが普通救命講習Ⅱを受講するため、新規採用者や更新者を対象とした講習会を7月に実施した。 ハザードマップ(夏期用・冬期用)を作成し、季節に応じて公園HPで公開した。</p>	<p>・迅速な対応及び手順ならびに今後の改善点を確認することができた。</p> <p>・ハザードマップは随時更新し、最新情報が提供できるようにした。</p>	<p>適切に実施されています。</p>								
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 学習機会の提供業務</p> <p>恒例となっている音楽や美術の展覧会、クラフト体験会に加え、新規で歩くスキーの講習会を開催した。なお、感染症対策のため、3月に予定していた冬芽観察会を中止した。</p> <p>①芸術関係(美術・音楽等) ▼展覧会「進藤冬華 移住の子」(7/20-8/25): 6,918名 ▼進藤冬華展トークイベント1(7/21): 25名 ▼進藤冬華展トークイベント2(8/3): 60名 ▼進藤冬華展サイクリングイベント(8/24): 4名 ▼モエレのホワイトクリスマス2019(12/22-24): 491名 ▼「イサム・ノグチ あかり展」(1/18-2/29): 2,158名</p> <p>②植物関係 ▼枝から小物を作る体験会(4/13): 9名 ▼サクラツアー(5/3、6): 40名 ▼ミニ盆栽を作ってみよう(6/1): 9名 ▼木の葉でたたき染め(6/29): 9名 ▼押し葉アート「飾る」(7/27): 8名 ▼紅葉を楽しむミニ盆栽(9/28): 15名 ▼秋の公園を楽しむガイドツアー(10/19): 1名 ▼モエレクラフトⅪ(11/2): 51名 ▼冬芽観察会(3/9): 3名</p> <p>③その他 ▼モエレの1年展(4/27-5/12): 9,579名 ▼公園あそびラボ(8/31): 35名 ▼さと・モエ合同ウォーキング2019: 227名 ▼冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう! 2020(1/18): 180名 ▼やってみよう! 歩くスキー(1/18、1/26): 20名</p> <p>▽ 持込イベント、メディア等に関する相談業務</p> <p>公園全体が芸術作品であり特徴的な景観を有することから、国内外のメディアによる取材・撮影希望を受けたほか、雪を活用した冷房システムやゴミ処理場の跡地を公園化したことなどの特徴から、各種団体の視察の対象となることも多く、要請に応じて適宜アドバイスや調整を行うとともに、随時視察に対応した。</p> <p>また、マラソン大会や自転車競技、花火大会等の大規模イベントについては、設営・撤去作業を含め主催者との調整・協議を綿密に行い無事終了した。また、イベント関係者車両の園内進入を極力抑え、時間帯や曜日を制限するなど、利用者の安全・安心の確保に努めた。</p>	<p>・例年開催している美術・音楽関連の事業は毎回工夫を重ね、市民から愛される事業として成長し、大変好評を得ている。</p> <p>・植物関係のイベントでは植物管理サポーターの積極的な活動により、多くの事業を実施できた。</p> <p>・新規事業として開催した歩くスキーの講習会は大変好評であり、冬季の利用促進につなげることができた。今後も様々な企画を打ち出していきたい。</p> <p>・国内外の専門家や美術関係者などの視察も多く、スムーズな利用調整と丁寧な視察案内を心掛けることにより、高い満足度を得た。</p> <p>・持込イベントに対しては、きめ細やかな事前調整を実施し、大きなトラブルなく対処できた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>公園のコンセプトを大切にイベントなどの機会が継続的に提供されています。モエレ沼公園らしさを追求し、魅力の向上に努めてください。</p> <p>適切に実施されています。大型イベントの前後で、施設の汚損や破損が発生しないように、現場の管理を行うようお願いいたします。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

	<p>▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>①モエレ沼公園利活用協議会の開催 ▼例年3月に開催している「モエレ沼公園利活用協議会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度内での開催はできなかった。</p> <p>②モイレHIDAMARI(植物管理サポーター)との連携 ▼年間を通じて、季節に応じた植物観察会やクラフト体験会など植物関係のイベントを協働で実施したほか、苗圃の管理作業やレストラン前花壇の除草作業等の協力を得た。</p> <p>③モエレ沼公園の活用を考える会(MFC)との連携 ▼MFC主催のイベント運営にあたって、必要な支援を行った。 10/20「ギャラリートーク2019」、12/7「みんなで一緒にモエレ冬のコンサート」</p> <p>④地域と連携した活動 ▼公園に隣接する札幌市立中沼小学校と連携し、3年生の児童に遊具での正しい遊び方の指導を行ったほか、雪冷房をテーマにした環境学習を実施した(7/4)。 ▼花火大会終了後、主催者及び市民ボランティアによる清掃活動を実施し、1,000人を超える参加があった。</p> <p>▽ 情報収集及び提供業務</p> <p>①利用者の声収集 ご意見箱設置のほか、定期的なアンケート調査、主催イベントにおける満足度調査など利用者の意見や感想を収集した。</p> <p>②ホームページの充実 公園HPにおいて、スマートフォンやタブレットでもアクセスしやすい環境を提供したほか、FacebookやTwitterも併用して、魅力ある情報を積極的に発信した。 また、主催事業だけでなく、持込イベントや、イサム・ノグチ関連の情報をウェブ上でシェアし、関連サイトへのリンクを張るなど、利用者の満足度向上につながるようサービスの充実を図った。さらに本年度は増加する海外からのウェディングフォトの利用について英語のパンフレットを作成し、海外利用者のニーズに応えた。</p>	<p>・ボランティア活動では、メンバーとともにガイドツアーやクラフト体験会等の内容を企画・試行して参加のモチベーション向上に繋げることができた。</p> <p>・遊具の遊び方教室は恒例事業となっており、住宅街から離れている環境の中で、地域とのつながりを作る貴重な機会となっている。</p> <p>・次年度においても、周辺地域や企業、ボランティア、NPO団体との連携を緊密に図っていく。</p> <p>・公園HPについては、利用者の閲覧形態が年々多様になる中、ウェブアクセシビリティに準拠するため、更新を実施した。</p> <p>・利用者の多様なニーズに応えるため、必要な情報を収集し、今後も発信を継続する。</p>	<p>適切に実施されています。ボランティア活動については、企画の工夫をすることで、モチベーションと愛着が保たれるように努めてください。</p> <p>適切に実施されています。</p>
--	--	---	---

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		H30年度実績	R元年度計画	R元年度実績
野球場	件数(件)	158	—	159
	人数(人)	5,293	—	6,044
	稼働率(%)	18.1	—	21.0
庭球場	件数(件)	3,904	—	3,730
	人数(人)	23,774	—	23,425
	稼働率(%)	33.4	—	30.7
陸上競技場	件数(件)	94	—	91
	人数(人)	6,190	—	8,467
	稼働率(%)	13.5	—	15.1
ピラミッド貸室	件数(件)	205	—	227
	人数(人)	7,102	—	13,019
	稼働率(%)	21.7	—	27.4
レンタサイクル	件数(件)	32,730	—	41,525
	人数(人)	32,730	—	38,920
	稼働率(%)	28.4	—	31.5

▽ 不承認・取消・還付・減免

- ▼不承認<合計0件>
- ▼取消<合計128件>
レンタサイクル:128件
- ▼還付<合計46件>
野球場:9件、庭球場:8件、陸上競技場:3件、貸室:26件
- ▼減免<合計742件>
野球場:5件、庭球場:161件、レンタサイクル:576件

▽ 利用促進の取組

- ▼野球場・庭球場・陸上競技場について、公園の利用促進と市民の体力向上を目的として、「体育の日」(10月第2月曜日)を無料開放した。
- ▼庭球場でのテニスラケットやボール、野球場でのベースのレンタルを行った。
- ▼貸室業務において、スポットライトや、グランドピアノ、電子ピアノ等の物品レンタルを行った。

・スポーツ施設の稼働率はいずれもほぼH30年度と変わらない件数、稼働率となった。

・陸上競技場はマラソン大会や駅伝大会のスタートゴールや大会本部の設置場所となった。インフィールド(サッカー利用)については、引き続き芝生の養生管理を念頭に、適切な管理に努める。

・貸室は感染症対策のため3月に閉館となったが、2月以前が大変好調であったため、利用件数はH30年度比110%となった。

・レンタサイクルは、台数を増加した結果、利用件数が前年度比126%となった。また、待ち時間が減り利用者の満足度向上にも貢献した。

・今後も利用者のニーズに即したきめ細かな利用案内・調整を心掛け、安全確保を第一としながら、各施設の稼働率向上に努める。

A B C D

適切に実施されています。利用者の満足度の向上が、稼働率の上昇につながるように、管理運営を継続してください。

適切に実施されています。

<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <p>主な広報の取組は以下のとおりである。</p> <p>▼公園リーフレットをホテルなどの宿泊施設や公共施設、観光案内所、美術館や博物館等へ配布した。</p> <p>▼自主事業によるイベントについては、公園HPでの告知、SNS、ポスターの掲示やチラシの設置等を行い、広く参加者を募集した。</p> <p>▼公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ取組確認・評価表を、令和2年3月31日に公開した。</p> <p>▼旅行情報誌、芸術関係誌等への公園紹介記事の掲載については、聞き取り取材に応じたり画像を提供するなど積極的に対応した。</p> <p>▼公園HPについては最新情報を随時更新したほか、Facebook等のSNSを活用して情報発信を行った。</p> <p>▼ガーデンアイランド北海道、アートギャラリー北海道に参画し、広報を行った。</p> <p>▼ガラスのピラミッド内の掲示板にて、公園施設及びイベント案内を行った。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>・各イベントごとに作成するチラシの他、クラフト体験会をまとめたチラシや、冬期利用に特化したリーフレットを作成。より手に取りやすくわかりやすいデザインで製作・配布し、利用促進につなげた。</p> <p>・利用者の情報入手手段として重要な公園HPやSNSを効果的に活用し、積極的な情報発信を実施した。</p> <p>・観光スタンプラリーなど他施設との連携事業に参加することで、情報発信をしていきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">公園のコンセプトを大切にした掲示物やリーフレットが作成され、適切な広報活動を継続していることを高く評価します。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	公園のコンセプトを大切にした掲示物やリーフレットが作成され、適切な広報活動を継続していることを高く評価します。							
	A	B	C	D											
公園のコンセプトを大切にした掲示物やリーフレットが作成され、適切な広報活動を継続していることを高く評価します。															
<p>2 自主事業その他</p>	<p>▽ 自主事業</p>	<p>▼主催(共催)イベント</p> <p>夏休み時期に、北海道で活躍する美術家進藤冬華の個展を開催した。また恒例の「モエレのホワイトクリスマス」のほか、ボランティア団体と協働での観察会や体験イベント、隣接するサッポロさとらんどとの共催で「さと・モエ合同ウォーキング」などを開催し、参加者より好評を得た。さらに、冬期には所蔵品による「イサム・ノグチ あかり展」を開催し、利用促進に繋げた。</p> <p>▼売店およびウィンタースポーツ用品等レンタル</p> <p>ガラスのピラミッド売店ではイサム・ノグチ関連の書籍やグッズ、公園オリジナルグッズの販売を行った。その他、各施設に自動販売機を設置したほか、冬季には歩くスキーやそりなどのウィンタースポーツ用品レンタルを実施した。なお、ウィンタースポーツ用品レンタルは感染症予防のため、2月末で終了した。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼ガラスのピラミッドの清掃業務や各種保守点検業務、警備業務等、第三者に委託する業務については、市内企業に発注した。</p> <p>▼車いすやベビーカーの無料貸出を行った。</p> <p>▼P2駐車場内の障がい者駐車スペースへの健常者駐車防止やスムーズな入出庫等を目的に、ゴールデンウィークやお盆等の繁忙期に警備員を配置して誘導案内を行った。</p> <p>・恒例イベントについては、事業内容をブラッシュアップし、より満足度が高くなるよう計画し、利用促進を図った。</p> <p>・新商品が好評であった。今後も様々な企画をし、魅力の向上につなげていく。</p> <p>・P2内の障がい者専用駐車区画は、舗装面の色を変えピクトを塗布することで明確に区別しており、さらにコーン設置により適正な利用を促すことができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">適切に実施されています。今後も、公園の魅力を伝え、国内外から訪れる利用者の満足度が上がるよう努めてください。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">適切に実施されています。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	適切に実施されています。今後も、公園の魅力を伝え、国内外から訪れる利用者の満足度が上がるよう努めてください。				適切に実施されています。			
A	B	C	D												
適切に実施されています。今後も、公園の魅力を伝え、国内外から訪れる利用者の満足度が上がるよう努めてください。															
適切に実施されています。															

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	<p>▼アンケートはガラスのピラミッドで月2回、土曜日に対面アンケートを実施し、総計850件の回答をいただいた。</p> <p>▼その他、自主事業での主要なイベント開催時にアンケートを実施した。</p> <p>▼満足度については、「スタッフの接客態度」は札幌市の要求水準より+5%、「公園の印象」は札幌市の要求水準より+15%を目標値に設定した。</p>
結果概要	<p>▼公園全体の印象に対する満足度は、「とても満足」が65.2%、「まあ満足」が33.2%で合計97.4%となり、要求水準である70%、目標である85%を大きく上回る数値で達成した。</p> <p>▼スタッフの接客に対する満足度は、「大変良かった」が59.3%と過半数を占め、「まあ良かった」が29.3%と続き、合計88.6%となり、こちらも目標値85%以上を達成した。</p> <p>▼来園者の属性をみると、「性別」では「女性」が60.7%となり、「男性」の38.2%を約20%上回った。「年齢」では「20代」が最も多く20.2%。次いで「40代」が19.4%、「30代」が18.9%となった。20代～50代は、各々約20%前後の割合を占め、勤労世代が全体の約75%という結果となった。「職業」では、「会社員」が47.9%で約半数を占め、次いで「主婦/主夫」が17.4%、「学生」が8.7%となっている。「同伴者」では、「家族(大人のみ)」が46.0%と最も多く、次いで「友達」が27.5%、「家族(子ども含む)」が9.9%という順となっている。「交通手段」では「自家用車」が最も多く45.0%、次いで「公共交通機関」が27.2%、「自家用車相乗り」が4.1%となった。</p> <p>▼「居住地」では、「北海道外」が最も多く52.6%、次いで「札幌市内」が多く34.6%、「北海道内」が12.7%となった。「北海道外」が最も多くなるのは平成27年度、28年度、30年度に次ぎ4回目。</p> <p>▼「来園目的」では、「旅行」が最も多く44.0%、次いで「散歩」が36.5%、「自然鑑賞」が23.0%となった。「来園頻度」では「今日が初めて」が最も多く64.1%、「これまでに何度か来た」が23.8%、「年に1～2回以上」が8.7%となった。遠方からの観光客がはじめて訪れたことがわかる結果となった。</p> <p>▼イベント参加者への満足度調査では、「進藤冬華 移住の子」展は「非常に満足した」「満足した」の合計は90%。また、「モエレのホワイトクリスマス」は「非常に満足した」「満足した」で合計91%であった。また、「あかり展」は「非常に満足した」「満足した」があわせて95%となり、いずれの事業も満足度は90%以上となり、非常に好評であった。</p>

・公園の施設管理、接遇の対応の向上を目指し、日々の管理をした結果、接遇の満足度、公園満足度共に目標値を達成することができた。

・企画したイベントへの評価が非常に高かったことから、今後も利用者ニーズを踏まえつつ、気軽に自然や芸術に触れ体験することのできるイベントや展示を企画していきたい。

・海外からの観光客が年々増加している中、これまでの公園HPやパンフレットの多言語化に加え、海外観光客が多く利用しているGoogleマップやトリップアドバイザーなどを積極的に編集、活用し、口コミ数を確保。好評価を維持した。

A	B	C	D
<p>サンプル数も多く、利用者の満足度も高いことを評価します。アンケート結果は、管理運営のための有益な情報であるため、今後の管理運営に反映するように心がけてください。</p>			

利用者からの意見・要望とその対応	<p>▼公園の「良い点」では、「きれい」「とても美しい」「景観がすばらしい」という公園独自の魅力に対する称賛の他、「管理が行き届いている」「清掃がしっかりされている」「イベントがよい」などの管理・運営面への評価も目立った。</p> <p>▼公園の「悪い点」では、例年コメントが多いアクセスや案内看板について、「わかりづらい」という声が集まった。また、遊具が地震の後、壊れたままになっており、遊具のメンテナンスについても悪い点としてコメントが集まった。</p>
------------------	---

・老朽化した施設の修繕のスケジュールについて札幌市と十分に協議し、利用者の期待に応え続けられる公園運営を目指していきたい。

・利用者からの声については、誠意をもって速やかに対応しており、苦情件数は減少傾向にあるが、苦情はSNSに書き込まれることも多くなっているため、今後も幅広い情報収集に努める。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R元年度計画	R元年度決算	差(決算-計画)
収入	188,878	194,003	5,125
指定管理業務収入	176,828	175,786	▲ 1,042
指定管理費	155,415	155,415	0
利用料金	21,413	20,330	▲ 1,083
その他	0	41	41
自主事業収入	12,050	18,217	6,167
支出	188,878	188,055	▲ 823
指定管理業務支出	179,928	173,691	▲ 6,237
自主事業支出	8,950	14,364	5,414
収入-支出	0	5,948	5,948
利益還元	0	0	0
法人税等	0	920	920
純利益	0	5,028	5,028

▽ 説明

- ▼利用料金収入は、レンタサイクルおよびガラスのピラミッドの貸出が好調であったが、テニスコート利用の減少が影響し計画額には届かず1,083千円の減となった。
- ▼自主事業収入は、新規オリジナルグッズ、冬季のスポーツ用品レンタルが好調で計画より6,167千円の増となった。
- ▼指定管理業務支出は、全体の経費節減を図り、特に光熱水費の節約に努めた結果、計画より6,237千円を縮減できた。
- ▼自主事業支出について、売上の増加と新商品の仕入れ、開発などにより、計画より5,414千円の増となった。
- ▼利益還元はなかった。
- ▼法人税等は、売店収入、自動販売機収入の増加に伴い計画より920千円の増となった。

・入園者数は、前年度比125%となり、それにもない、利用料金も計画額に迫る収入となったが、他公園のテニスコート改修に伴い利用者が他施設に流れたため計画額には届かなかった。しかし、新規グッズの開発やウィンタースポーツ用品レンタルが好調であったことから、自主事業収入は計画額を上回った。

・次年度は新型コロナウイルスの蔓延する状況から、観光客が減少する可能性が高い。変化する利用者の要望に応えられるよう施設の整備、魅力あるサービスを提供し、収入増へと繋げたい。

A	B	C	D
計画を上回る収入があり、良好な収支状況を保っていることを評価します。今後も収支の余剰金を積極的に、新しい企画や施設の修繕等に当ていただき、公園利用者へと還元されることを期待します。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>▼当団体の財務状況等は、令和元年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。</p>		<p>適 不適</p>
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。</p> <p>▼情報公開請求はなかった。</p> <p>▼当公園の管理等に係るオンブズマンの現地調査はなかった。</p> <p>▼公園利用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。</p> <p>▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。</p>		<p>適 不適</p>

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>①公園作業実績</p> <p>▼施設・設備等の維持管理 日常清掃・点検等により適切な状態を維持し、快適かつ安全に利用できるよう努めた。 ガラスのピラミッドの改修工事や災害被害について札幌市、委託業者と密に連絡を取り、利用者の安全を確保した。 また、例年、西駐車場が東区東地区の除雪センターとして利用されており、今年度も11月下旬から3月下旬にかけて設置された。</p> <p>▼植物の育成管理 公園の立地環境と植物の特性を十分考慮した年間作業計画を作成、樹木・草花・芝生等を気象状況を考慮しながら常に良好で健全な状態に維持しつつ、利用目的や用途に応じたメリハリのある管理を行った。</p> <p>▼冬期管理 積雪量が少なく、歩くスキーコースやソリ滑りエリアは計画よりも距離、面積を縮小し、供用した。散歩コースは利用者の要望に応え、整備距離を延長することで、利用サービスの充実を図った。 また、雪庇処理や雪下ろし、施設周りの除雪などを適宜実施したことにより、雪による施設被害はなかった。また、園路除雪ではスノーポールを適所に設置し、大型除雪機械による園路破損を最小限に留めた。なお、雪冷房用の雪入れは積雪量が少ない中でも予定数量を確保し、業務期間内に終了した。</p>	<p>▼一般の公園利用者はもとより、障がい者、乳幼児連れの利用者、高齢者、海外からの利用者が安全・快適に公園を利用できるよう、各種取組を継続するとともに、さらなる充実を図る。</p> <p>▼公園利用者からの意見・要望のほか、周辺地域やボランティア等の意見をふまえて管理運営に反映させ、親しみやすい公園づくりを目指すとともに、当公園の特徴的な景観や施設を活かした管理運営を行う。</p> <p>▼倒木および地震による遊具の倒壊など被害の復旧に努め、高い利用者満足度を維持する。</p> <p>▼公園の総合満足度平均85%以上(要求水準70%)、接遇に関する満足度85%以上(要求水準80%)を事業目標に掲げ、確実な達成に向けて、維持管理レベルの維持向上ならびに利用サービスの充実を図る。</p> <p>▼環境マネジメントシステムに従って環境負荷軽減への取組を継続的に行い、環境へ配慮した運営維持管理に努めるとともに、生態系への配慮や環境保全等に関する普及啓発を推進する。</p> <p>▼施設点検の強化や計画的な予防保全により、ライフサイクルコストの縮減とともに公園施設の長寿命化を図る。</p>

②施設の利用状況

今年度の入園者数は878,761人で昨年度よりも173,206人増加した。夏季は超大型連休および10月の好天、冬季においては、全市的な雪不足の中、当公園はまとまった積雪があり、雪遊びが出来たことが利用増の原因としてあげられる。また感染症予防の意識の高まりから比較的安全な屋外利用の需要が高まり、3月は特に利用者が多くなった。

③収入状況

レンタサイクルは貸出台数を増加したこととから前年比142%と大幅増となった。スポーツ施設は97%とほぼ横ばい。ガラスのピラミッドの貸室および野外ステージレンタルは前年比176%と大幅に増加した。3月はガラスのピラミッドが臨時休館となり利用料金はすべて還付したが、2月分までの収入でその影響をカバーでき、利用料金全体では前年比117%となった。

【所管局の評価】

総合評価

公園の特性を活かした各種イベントの開催や公園の魅力発信がなされています。施設の老朽化も始まっていますので、予防的な措置を講じるように努めてください。観光客以外の利用者もこれまで以上に意識し、魅力あふれるモエレ公園であり続けるように、管理運営に努めてください。

改善指導・指示事項

上記の所管局評価を参照してください。